

## 2023(令和5) 年度事業計画 (案)

特定非営利活動法人 トレイル・オリエンテーリング協会

## 1 事業計画の方針

2008年6月21日に設立総会を開催した当協会は、まもなく15周年となり、トレイル・オリエンテーリング(トレイルO)は、障がいのために車椅子を使っている人や内部疾患などで激しい運動が出来ない人、子供から高齢者まで、みんなが同じ条件で楽しむことができるアウトドア・スポーツとして普及活動を続けてきました。おかげさまで若い方による大会企画参加は、増えてきましたが、障がい者、高齢者等への普及は思うように進んでいません。ここ数年は、これらの活動があまり活発に行うことができずに終わりましたが、今年度は活動状況を回復し、あらためて障がい者とともに行えるスポーツとしてのアピールにつなげ、合わせて若手競技者の入会を促し、競技者増加にむけての事業展開をいたします。すでに世界的まん延から3年を超えるコロナ禍により、競技の開催がほとんど実施できない状況が続いています。そのような状況のなか、近年オンラインによるトレイルOが世界各地で盛んになってきており、コロナ禍の中でも、パソコン上で手軽にトレイルOを体験できる機会として、これを新人のリクルートなどに使ったり、またゆくゆくはオリジナルのコースを作成し、普及活動にも役立てることを検討していきます。

まだ完全な収束は先の話ですが、感染症法上の位置づけの変更が5月8日に行われ、実地での大会が3月に久しぶりに開催されるなど先行きの改善が見えてきています。

なお、(公社)日本オリエンテーリング協会(JOA)の2022年度事業計画においては、パラリンピッククラス競技人口の増大、障害者団体・障害者スポーツ協会等への働きかけを行うことが継続して計画されており、JOAの2023~6年度中期計画(2023.4)においても、「JPCへの加盟を目指して活動を行う」「パラスポーツとの共同事業の可能性を検討する」と記載されています。

当協会においても、トレイルO(及びオリエンテーリング)の存在を知ってもらう・触れてもらう機会の提供について模索していきます。

地域のパラスポーツ体験イベントへの種目参画やその継続については、都道府県オリエンテーリング協会・地域オリエンテーリング競技団体の協力を得ることを考えていきます。

## 2 事業の実施に関する事項 (2023(令和5)年4月1日~2024(令和6)年3月31日)

定款の事業名	事業内容	事業実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
トレイル・オリエンテーリングに関する事業の企画、実施又は援助に関する事業	世界選手権 壮行会	6月10日	Japan Sport Olympic Square	2名	障がい者及び健常者	2名 派遣支援
	世界選手権	7月1-7日	チェコ	3名		3名 派遣支援
	ウェルフェア スポーツ仙台	11月	仙台市 元気フィールド仙台	6名		20名 種目の継続実施を申請予定
	全日本大会	未定	-	3名		3名 開催協力
	インカレ協賛 トレイルO大会	未定	-	3名		3名 開催協力
	2024年世界選手権 日本代表選手選考会	開催無しのため選考会はなし	2023年度以降隔年開催	-		-
	パラスポーツ体験イベントでの種目開催	未定	未定	6名		20名 目標イベント等計画中
	機材整備等	通年	-	-		-
トレイル・オリエンテーリング普及推進のための地域組織の育成、指導者育成に関する事業	世界選手権 報告会	未定	-	3名	障がい者及び健常者	-
	地域組織普及及び支援	通年	-	2名		15名 開催協力

トレイル・オリエンテーリングに係る情報の提供に関する事業	報告書作成	未定	-	名	関係機関及び個人	-	-
	HPの充実 マスメディア対応	通年	-	2名		-	-
森林等の保全に関する事業	ボランティア活動	随時	-	-	不特定	-	-